

## 新・第5次荒尾市総合計画の改定について（概要）

### 【総合計画の策定経緯】

本市の総合計画は、市の最上位計画として、これまで第5次におたって、社会情勢の変化や市民ニーズの多様化に対応しながら、まちづくりの将来像や政策方針などを策定してきました。

このような中、今後、全国的に人口減少が加速化することが見込まれる中、国において「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、本市では、平成24年に策定した第5次荒尾市総合計画の人口減少対策をより強化し、地方創生を推進するため、平成27年10月に「新・第5次荒尾市総合計画」を策定しました。

新・第5次荒尾市総合計画は、計画期間を5年間（平成31年度まで）としており、長期的な将来人口展望を示す「人口ビジョン」と、まちづくりの将来像や政策方針等を示す「あらお創生総合戦略」で構成しています。

### 【改定の目的】

平成27年度に策定した新・第5次荒尾市総合計画は、本年度が中間年度を迎えており、計画の目標指標について、目標年次が平成28年度と設定しているものがあるなど、修正が必要な箇所が存在します。

また、近年の新たな施策に対応するとともに、人口減少や地域経済活性化、超高齢社会などの課題への対応を強化する必要があるため、総合計画の内、あらお創生総合戦略の一部を改定します。

重点戦略については、明るく豊かな未来を築くため「あらお未来プロジェクト」とし、新たに18本の具体的な施策を重点戦略に追加します。また、荒尾干潟を活用したまちづくりや、エネルギーの地産地消の推進、学校教育施設の充実などの施策を新たに定めます。

## 【主な改定箇所】

### ○重点戦略について

- ・名称を「子どもと楽しむまち」から「あらお未来プロジェクト」に変更。
- ・まち・ひと・しごと創生の観点を継承しつつ、「ひとの創生」を、「みんなで育む『人づくり』」及び「みんなで築く『安心づくり』」、「しごとの創生」を「みんなで挑戦『夢づくり』」、「まちの創生」を「みんなで創る『街づくり』」で構成。
- ・子どもへの投資の重点化や、健康・長寿の暮らし実現、成長力の創出などに関する具体的な施策を重点戦略に追加。

### ○具体的な施策について

#### （新たな施策の追加）

- ・荒尾干潟を活用したまちづくり
- ・エネルギーの地産地消の推進
- ・学校教育施設の充実

#### （重要業績評価指標の修正）

- ・産業界と連携したキャリア教育の実施
- ・乳幼児期から小児期における母子保健事業の実施
- ・多様な保育需要への対応
- ・都市のコンパクト化
- ・多世代交流・多機能型の拠点の形成
- ・インフラの戦略的な維持管理・更新等の推進
- ・スポーツの推進
- ・新病院を中心とした健康で安心な暮らしの実現

※このほか、一部の施策について文言修正等を行っています。